

2024年度環境経営レポート

対象期間:2024年7月1日~2025年6月30日



株式会社タナック 宿毛工場

発行日 令和7年 9月 12日



人の未来へ — 豊かな心で明日を輝かせたい

目 次

環境経営方針	1
1. 事業の概要	2, 3
2. 2024年度の環境経営目標とその実績	4
3. 2024年度 環境経営活動の取組結果の評価	5, 6
4. 環境経営目標(中期目標計画)	6, 7
5. 2024年度の取組内容及び次年度の取組内容	7, 8
6. 環境関連法規への違反、訴訟の有無	9
7. 経営における課題とチャンス	9
8. 代表者による全体評価と見直しの結果	10
株式会社タナックSDGs宣言	11



環境経営方針

【環境経営理念】

当工場は、事業活動を通して、人と自然の調和による地球環境との共存関係を目指し、環境経営システム(エコアクション21)に基づき、事業活動の責務として環境保全との共生を図るべく行動する。

【環境経営方針】

1. 当工場は、スチールケース部材・住宅部材・立体駐車場部材の製造において、省エネルギー、省資源の推進・リサイクル化・廃棄物の削減等、環境の保全向上に努める。
2. 当工場は、継続的な環境改善と汚染の予防に努める。
3. 当工場は、環境に関わる法規・法則他の公的基準の順守と、環境に影響を与える恐れのある事業活動を責任をもって管理する。
4. 当工場は、本方針遂行の為、環境目標を設定し活動し、これを見直しする。
本年度目標としては、二酸化炭素、廃棄物、化学物質、を前年度実績に対し各 1%削減、水は直接生産に関係ないため現状維持とする。
5. 当工場は、環境経営方針を全従業員に周知・徹底し、方針に従って行動するように教育・訓練を実施する。
6. 当工場はSDGsへの取り組みの推進を図る。
7. 当工場は、グリーン購入を推進する。
8. 従業員への当社での製造及び品質に関する教育、多能工作業の人材育成を実施する。
9. 当工場は、環境経営方針を含む環境経営レポートをホームページに掲載し公開する。

制定日 平成 29 年 7 月 1 日

改定日 令和 7 年 7 月 1 日

株式会社タナック 宿毛工場

工場長 渡辺巧



1.事業の概要

(1)認証・登録の対象組織

株式会社タナック 宿毛工場

事業所所在地

宿毛工場 高知県宿毛市平田町戸内字扇 3433-10

(2)エコアクション21責任者

工場長 渡辺 巧

環境管理責任者 明神 保善

連絡先 TEL:0880-66-1098

FAX:0880-66-1097

(ホームページ <http://www.tnak.co.jp/>)

(3)事業の規模 (2023 年度～2024 年度実績)

事業年度	2023年度	2024年度
売上額	96.8千万円	102 千万円

従業員数 45 人

土地 9900 m²、事務所 400 m²、工場 4500 m²、倉庫 330 m²

(4)事業内容



事業内容

業種

- ・金属プレス加工業
- ・建設用金属製品製造業
- ・エネルギー（電気）販売業



主な製品やサービス

- ①梁や住宅タイル・屋根などの住宅部材
- ②新幹線及び高速道路の防音壁
- ③立体駐車場向けの鉄骨部材
- ④太陽光発電による売電事業



各種建材・住宅部材



防音壁部材



立体駐車場部材



各種パレット

5

宿毛工場: スチールケース部材、住宅部材、立体駐車場部材等の製造

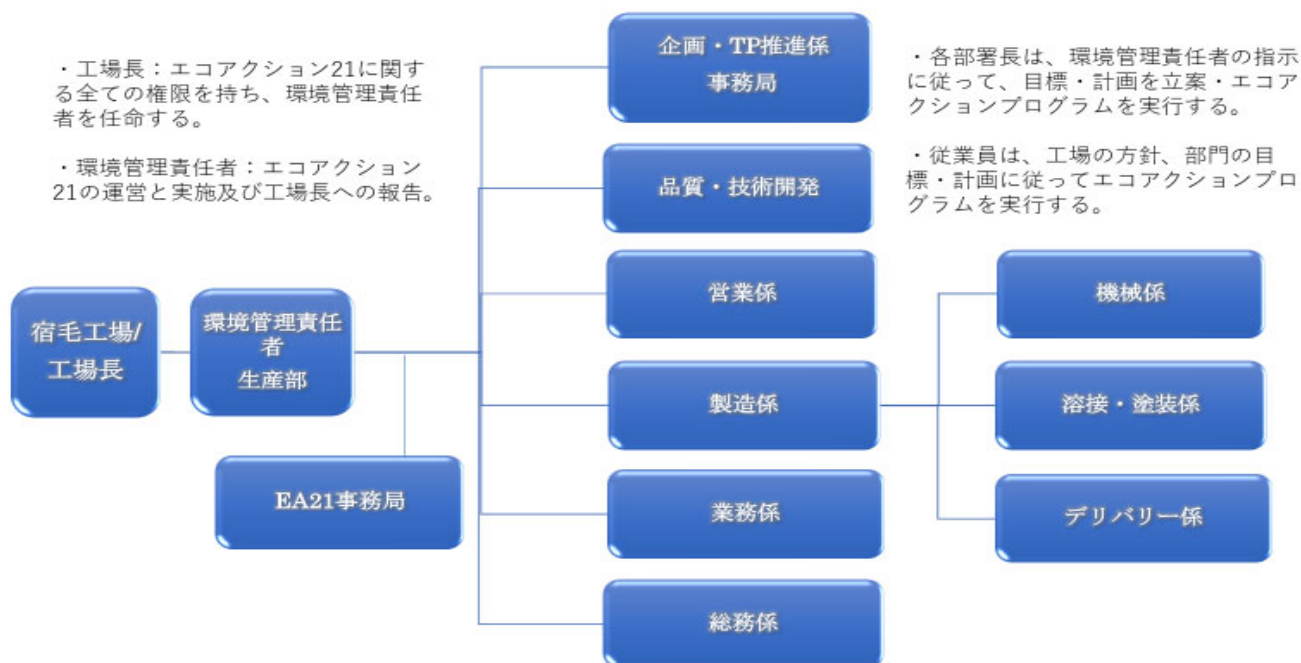


人の未来へ — 豊かな心で明日を輝かせたい

(5)その他

立地地域 工業専用地域

実施体制(役割と責任)当社のエコアクション21の担当者組織図



(株)タナック全体でのマネージメントシステムへの取り組み、その状況

マネージメントシステム取得状況

本社及び本社工場
エコアクション21取得済み



三重工場
ISO9001 ISO14001取得済み



宿毛工場
エコアクション21取得済み



兵庫工場
ISO9001 ISO14001取得済み



3



人の未来へ — 豊かな心で明日を輝かせたい

3

2. 2024年度の環境経営目標とその実績

環境経営目標の設定方法

使用量、排出量を 2023年度実績から年間で販売高(原単位)1%低減させることを当面の目標とする。一般廃棄物及び水使用量は、直接生産に関与していないのと排出量・使用量が少ない為、現状維持とした。また、水使用量が著しく増えています、地下の水道管が二カ所破損していたため発見が遅くなり使用量が増えてしまいました。現在は破損場所を修繕して従来の使用量となっております。2024年度グリーン購入については、現時点で事務用品の購入がほぼグリーン製品の為、目標設定は行っていない。品質不具合については、現状維持で目標を設定した。

【2022 年度からの実績と本年度の実績と判定結果】

項目	単位	2022年度 実績	2023年度 実績	2024年度 目標	2024年度 実績	達成率 (%)	判定 目標/実績
購入電力	kWh/千万円	2931	2925	2896	2879	100.6%	○
軽油	ℓ/千万円	65.16	55.82	55.26	50.31	109.8%	○
ガソリン	ℓ/千万円	5.93	5.29	5.23	3.96	132.1%	○
一般廃棄物排出量	袋 (1袋平均2.7kg)	151	148	147	142	103.5%	○
水使用量	m ³	364	289	286	522	54.8%	×
トルエン	kg/千万円	0.200	0.000	0.000	0.000	-	-
キシレン	kg/千万円	0.124	0.000	0.000	0.000	-	-
エチルベンゼン	kg/千万円	0.123	0.000	0.000	0.000	-	-
品質不具合	件	22	22	22	21	104.8%	○
二酸化炭素総排出量	t-CO ₂	164.4	160.3	-	151.5		

※二酸化炭素排出量：四国電力 2023 年度調整後排出係数 0.464kg-CO₂/kWh を使用
達成率(%) = 目標／実績 で計算

(二酸化炭素総排出量は LPG・灯油を含んでおります。なお、2024年度の LPG・灯油の二酸化炭素排出量は、237.9kg-CO₂ でした。)

(産業廃棄物は生産量により大きく変動するため、目標設定しておりません。)

二酸化炭素排出量に関する電力・軽油・ガソリン使用量、化学物質使用量は、総量では事業年度によりかなり変動があるが、製品出荷額当たりのそれぞれの排出量で見ると、ある程度安定する為、これ等の指標で負荷削減を考慮する。



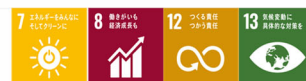
2. 2024 年度 環境経営活動の取組結果の評価

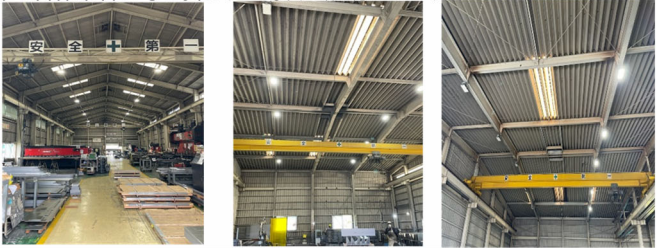
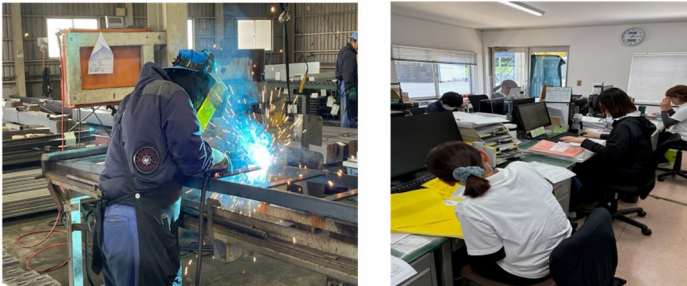
評価 ◎：非常によくできた ○：できた △：一部できていないが、まあまあできている ×：できなかった					7	12	13	15
目標(2024年度)	目標達成手段(年間計画より抜粋)	部門	評価	取組結果と評価				
廃棄物の削減 目標:147袋 結果:142袋	(2) 通いパレットのリターナブル化 	出荷	◎	<ul style="list-style-type: none"> 不要な木材を地域の方々に貰っていただきお風呂の薪などとして再利用していただいている。 				
	(3) ゼロ梱包化	機械	○					
	(4) 木材の有効利用(リサイクル、リユース) 	機械	◎					
	(6) ダンボール箱の60%削減	出荷	○					
	(7) 通いコンテナ使用 	出荷	◎	<ul style="list-style-type: none"> 通いのコンテナを使用しているのでダンボールや紙類のゴミが削減できた。 				
								

評価 ◎：非常によくできた ○：できた △：一部できていないが、まあまあできている ×：できなかった					7	12	13
目標(2024年度)	目標達成手段(年間計画より抜粋)	部門	評価	取組結果と評価			
燃料の削減 ガソリン 目標:5.23L/千万円 結果:3.96L/千万円	(1) 社用車、フォークリフトのアイドリングストップ強化。	出荷	◎	<ul style="list-style-type: none"> 台車を増やすことによりフォークリフトの燃料(軽油)の購入量を削減することができた。(前年度より4台増台) 営業活動や納入をできるだけまとめて出る回数を減らすことによりガソリンの購入量を削減することができた。 			
	(2) 不必要な運転の禁止、急発進の禁止、徐行運転の徹底。(エコドライブ化)	業務	◎				
	(3) クレーム件数を低減する。手直し、積み残しを出さない。(クレーム処理によるガソリン使用量を低減する。)	業務	○				
軽油 目標:55.26L/千万円 結果:50.31L/千万円	(4) 台車の台数を更に増やしフォークリフトを使わない運搬方法を強化。 	機械	◎				
							
	(5) エコドライブの徹底。	業務	◎				



評価 ◎：非常によくできた ○：できた △：一部できていないが、まあまあできている ×：できなかった



目標(2024年度)	目標達成手段(年間計画より抜粋)	部門	評価	取組結果と評価
電力の削減 目標:2,896kWh/ 千万円 結果:2,879kWh/ 千万円	(1) 各作業員に呼び掛け、工場及び照明のオン、オフを実施する。 	全	◎	<ul style="list-style-type: none"> ・各従業員に節電の意識が根付き休憩時間や必要無い部分の消灯ができています。 ・夏場の空調服、ポロシャツなどの作業着も変更して節電と熱中症対策もできました。
	(5) 金型作成、設備導入による作業時間削減及び夜勤時間の削減。	機械	◎	
	(6) 休み時間に設備、照明、空調の電源オフ。(1日当たり1時間)	全	◎	
	(7) 設備、材料などの近接化により効率アップする。(ハンドリング時間短縮)	機械	◎	
	(9) 扇風機使用により体感温度を下げる。(設定温度を上げる為)	業務	◎	
	(12) 太陽光による発電設備(57kW)	-	◎	
	(13)クールビズ:夏場、空調服やポロシャツへ変更 	全	◎	

グリーン購入

グリーン購入につきましては、トイレトーパーR100、コピー用紙は(再生品)を選び、手洗い石鹸、洗剤、ティッシュなどは詰め替え用を購入しゴミを少なくしております。
また、電球なども事務所、工場共に長期間使用できる LED 電球に変更しております。

4. 環境経営目標(中期目標計画)

排出量、使用量を年間で前年度実績から、年間販売高(原単位)1%低減させることを当面の目標とする。なお、水使用量の目標値は 2024 年度の水使用量が漏水の影響により例年より大幅に増加したため、水使用量のみ再度 2024 年度の目標値を採用することとした。
一般廃棄物及び水使用量は、直接生産に関与していないのと排出量・使用量が少ない為、目標値は表示するが、現状維持とした。

グリーン購入については、現時点で事務用品の購入がほぼグリーン製品の為、目標設定は行



わない。品質不具合については単独で目標を設定する。

項目	単位	2025年度 目標	2026年度 目標	2027年度 目標
購入電力	kWh/千万円	2850	2822	2793
軽油	ℓ/千万円	49.8	48.4	47.9
ガソリン	ℓ/千万円	3.93	3.9	3.83
一般廃棄物排出量	袋（1袋平均2.7kg）	140.5	139.1	137.7
水使用量	m ³	286	283	280
トルエン	kg/千万円	0	0	0
キシレン	kg/千万円	0	0	0
エチルベンゼン	kg/千万円	0	0	0
品質不具合	件	20	19	18

5. 2024 年度の実績内容及び次年度の実績内容

環境経営計画（目標達成手段）は次の通りです。

① 電力の削減 目標 2023 年度実績（原単位）に対し 1%削減

- （1） 各作業者に呼び掛け、工場及び照明のオン、オフを実施する。
- （2） 原則として、晴天時の日中は工場、事務所の照明を使わない。
- （3） 工場の必要な場所ごとに照明のオン、オフを実施する。
- （4） TP活動による改善活動を進め、作業効率を上げる。
- （5） 金型作成、設備導入による作業時間削減及び夜勤時間の削減。

その他

② 自動車、フォークリフト燃料の削減 目標 2023 年度実績（原単位）に対し 1%削減

- （1） 社用車、フォークリフトのアイドリングストップ強化
- （2） 不必要な運転の禁止、急発進の禁止、徐行運転の徹底（エコドライブ化）
- （3） クレーム件数を低減する。手直し、積み残しを出さない。（クレーム処理によるガソリン使用量を低減する。）
- （4） 台車の台数を更に増やしフォークリフトを使わない運搬方法を強化
- （5） エコドライブの徹底

③ 廃棄物の削減／適正処理目標 2023 年度実績（原単位）に対し 1%削減

- （1） 不必要な木材は無くす様仕入先に依頼（引き取り化）一部の業者で（実施中）
- （2） 通い木材パレットのリターナブル化
- （3） ゼロ梱包化、木材の有効利用（リサイクル、リユースをすすめる）
- （4） ダンボール箱梱包の 60%削減



- (5) 通いコンテナ使用(ゼロ梱包化)
- ④ 水道水の節約
目標286m³ 節水に努める
- ⑤ 化学物質使用量削減 目標 2024年度実績とする。
- (1) 水性の非危険物塗料に全面変更し PRTR 法対象化学物質含有製品は原則使用しない。
- ⑥当工場の製品及びサービスに関する環境目標
- (1) 作業改善や作業治具化、金型化により、お客様へ納品後のクレームを無くす。
- (2) 決められたルールを守り、社内不具合を低減する。
- (3) 積み込み前のチェックにより積み込み忘れを無くす。
- (4) 各工程の検査の徹底
- (5) 品質パトロールや出荷前検査の強化により、不具合を未然に防ぐ。
- ⑦環境経営教育訓練の推進
- (1)環境経営方針・環境経営目標・環境経営活動計画の徹底を図る
- ⑧品質不具合の削減 目標 22 件
- (1)品質パトロールの実施
- (2)初物品の出荷前検査の強化
- (3)発生してしまった不具合対策案についての検証確認
- (4)作業治具化、金型化により不具合を無くす。
- (5)他工場との不具合情報の共有化及び対策の水平展開
- (6)工程管理項目を見やすいものへ変更し、間違いを少なくする。
- 次年度以降も上述の取組を継続し、各項目の削減目標値の達成を目指す。

6. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。(令和 7 年 7 月 1 日確認)

適用される法規制	適用される事項(施設・物質・事業活動等)
環境基本法	環境保全に関する施策を総合的かつ計画的に推進する。
廃棄物処理法	一般廃棄物及び産業廃棄物の保管・排出
浄化槽法	浄化槽の清掃、点検、11条検査
消防法(危険物)	危険物の保管
フロン排出抑制法	業務用空調機の定期点検、簡易点検の実施・記録を廃棄後3年間保管
高知県公害防止条例	規制基準の遵守
顧客要求事項	環境管理、品質管理

環境関連法規制等の遵守状況の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。

なお、違反、訴訟等も過去3年間ありませんでした。

また、外部からの環境上の苦情・要請等もありませんでした。



8. 代表者による全体の評価と見直し・指示 （令和 7 年 7 月 1 日確認）

〈今年度の評価〉

従業員の頑張りで前年より多く（前年比 105.3%）の売り上げが確保できた。

例年通り小ロット品や試作品が主流となっているものの、今までの短納期対応や他社では無理な加工や納期対応などの恩恵もあり、安定したお仕事を確保することができた。

また、工程の把握と現場及び従業員の努力で、残業 0～1.5 時間程度に収っております。

結果、今まで苦しんでいた電気使用量の目標は達成できた。（原単位 kWh/千万円で 2023 年度 2902→2024 年度 2896）

化学物質使用量に関しては、水性の非危険物塗料へ全面変更したことにより前年に引き続き、トルエン(0%)キシレン(0%)エチルベンゼン(0%)を達成することができた。

その他の廃棄物、各燃料等につきましても目標達成。

※今後全面的に水性の非危険物塗料へ移行しています。

水に関しては地下のパイプが二カ所経年劣化で破損したため水漏れが発生したが、地下だったため発生場所を発見するのに時間が掛かり水漏れのため使用量増となってしまいました。

〈来年度に向けて〉

環境経営方針、環境経営目標、環境活動計画、実施体制は基本の考え方は継続します。

電力、各燃料、廃棄物、水等につきましても目標達成できます様、今後も推進いたします。
会社独自のTP活動を進め、各職長や作業員から提出された改善案を基に PDCA 活動を実施し、改善をより効果的なものとするに努めます。



株式会社タナック SDGs宣言

当社は国連が提唱する「持続可能な開発目標（SDGs）」に賛同し、持続可能な社会の実現に向けた積極的な取り組みを行ってまいります。

2024年6月6日
株式会社タナック
代表取締役 田中 初重

SDGsの達成に向けた取り組み

究極のコストで、究極の品質を目指す

私たちはハイレベルでオリジナリティの高い省力化の進んだ生産ラインを導入し、生産効率の向上と高品質化を徹底追及してまいります。

【具体的な取り組み】

- ・品質マネジメントシステム：ISO9001認証取得
- ・高性能機械導入による製造の効率化、製品の品質向上
- ・生産性向上、コスト削減等に繋がる改善提案制度の設置



安全で明るく、安心できる快適な職場の創造

私たちは社員が自由な発想を発信できるクリエイティブな空気をつくることで、生き甲斐や働き甲斐を感じられる職場づくりに努めてまいります。

【具体的な取り組み】

- ・社員の能力向上のため資格取得の奨励
- ・長時間労働、サービス残業の防止
- ・産休、育休、介護に配慮した勤務体制
- ・健康診断の受診徹底



効率、省エネを意識した活動

私たちは環境に配慮した事業活動を徹底することで、地球温暖化防止に積極的に取り組み、環境負荷の軽減に努めてまいります。

【具体的な取り組み】

- ・環境マネジメントシステム：ISO14001認証取得
- ・環境経営システム：エコアクション21認証取得
- ・メガソーラー発電事業の運営



地域社会からも親しまれる企業になる

社員のほとんどが地元出身である当社は、工場での生産活動を通じて誰一人取り残さない持続可能な地域社会に貢献してまいります。

【具体的な取り組み】

- ・地元人材の積極採用、高齢者の延長雇用
- ・職場見学の受入れ



SDGsとは

SDGsとは、Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）の略称で、2015年9月に国連で採択された2030年までの国際目標。「地球上の誰一人取り残さない」をスローガンに、持続可能な社会の実現を目指しており、経済・社会・環境などの分野で17の目標と169のターゲットで構成されています。

